

<p>チーム名</p> <p>K</p>	<p>キャプテンが所属する団体名</p>
<p>チーム名の由来</p> <p>まるで音波が通り過ぎて行くような速さであつという間に人を助け出し、助けを求める人たちに希望を与える様は、まさに夜空に輝く流れ星のようだ。</p> <p>レスキュー活動上の特徴</p> <p>まず、瓦礫排除用にクレーンゲームのようなものではなく、より「実際に手でつかんでいる」ような感覚で操作できるものを使用することにしました。また、掴む部分を回転させることによって、斜めに突き刺さっているような瓦礫についても除去することが可能です。</p> <p>これによって操作性が格段に上がり、ダミアン周辺の瓦礫をすばやく、正確に除去することが可能になりました。これは、瓦礫を除去している際にダミアン周辺の瓦礫が崩れることが無いようにするためには絶対に必要な物です。</p> <p>そして、瓦礫がある程度排除されたら今度はダミアンの救出です。ダミアンを救助する部分ですが、ダミアンを「掴む」のではなく「掬い上げる」ような形になっているため、ダミアンにほとんどダメージを与えることなく、救助することが可能です。</p> <p>また、アームの形状により、瓦礫のトンネルの中にダミアンが存在する場合も救出することが可能になっています。</p> <p>最後に、ダミアン輸送車に付いては、ベッドの中に綿を敷き詰めることにより、路面の状態が悪い時でも、また籠から下ろすときにもダミアンにほとんど衝撃を与えることがありません。また、機体後部に設けている高々度カメラによって、第2のヘリテレを作り、ほかの機体の視界を大きく広げてあげることが出来ます。</p> <p>これらの事により、実際の活動時には、より安全・確実にダミアンを救助することができます。</p> <p>チームの紹介</p> <p>この大会に出場することも初めてですが、ロボットを作ったりするのも初めてのメンバーです。ロボット製作の難しさに頭を悩ませていますが、同時にその楽しさがわかってきました。この大会に向けての意気込みはほかのどのチームにも負けていないと思っています。</p>	

チーム名	キャプテンが所属する団体名
K	

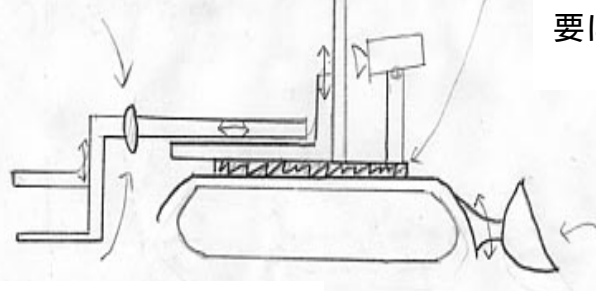
第	ロボット名(フリガナ)
1号機	

このロボットの構造図およびアイデアをわかりやすく作図してください。

ここを回転させることにより手首を回すような効果があり、より複雑に重なった瓦礫を除去できます。

ターンテーブル

車体上部のみ回転させることで、細かい車体操作を不要にします。



また、2枚の板で挟むような構造にしたことによって、より大きな板のような瓦礫でも除去することが可能になっています。

上下に動くことによって瓦礫を押しだけでなく運ぶことも出来ます。

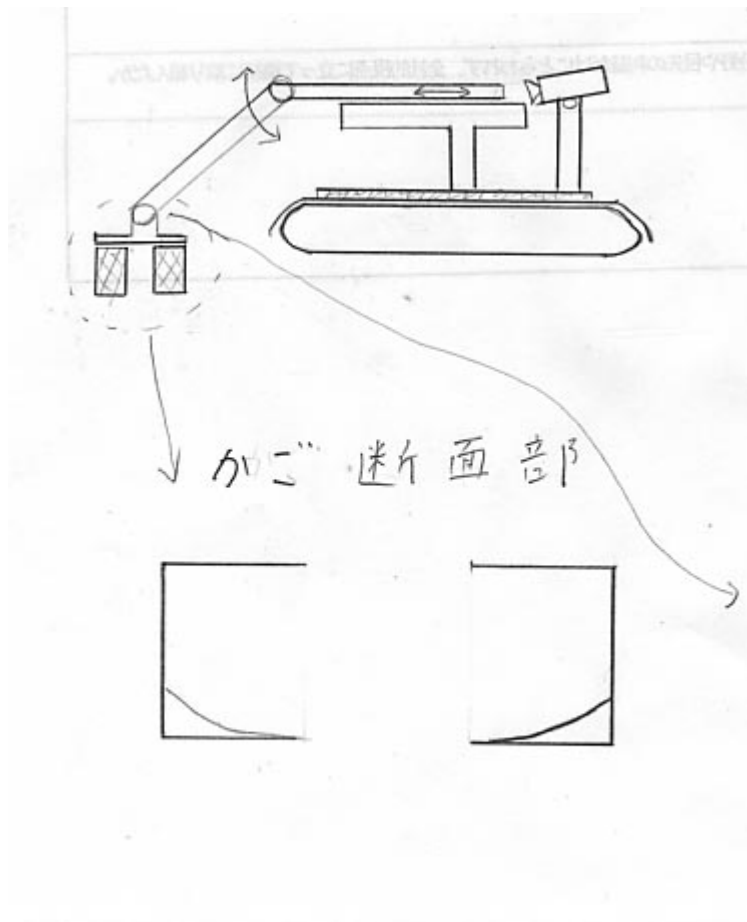
これによってかなりの量の瓦礫が重なって、とても押し出せないような場合でも対処することが出来ます。

チーム名	キャプテンが所属する団体名
K	

第	ロボット名(フリガナ)
2号機	

このロボットの構造図およびアイデアをわかりやすく作図してください。

この機体にもターンテーブルが取り付けられています。



この機体についている特殊な形状の籠によって、ダミアンをほとんど寝たままの状態です。3号機に運ぶことができます。

内部にある緩やかな斜面のおかげで、籠から降ろす時も滑らかに降ろすことができます。

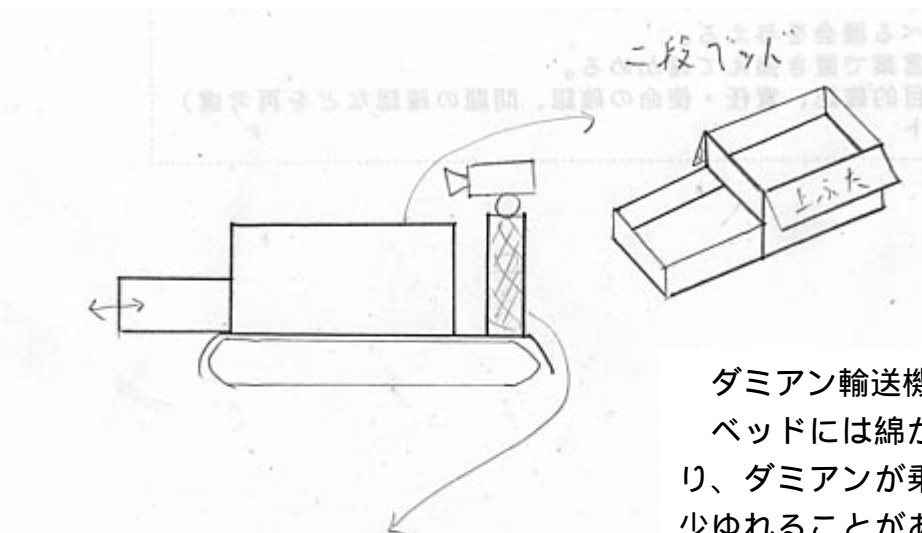
また、籠状になっていることによって、瓦礫が崩れてきてもダミアンを保護することができます。

この関節によって、かごを瓦礫に押しつけた時、その角度に関節が曲がることによって、ダミアンが瓦礫で出来た斜面に倒れていても救助できるようになります。

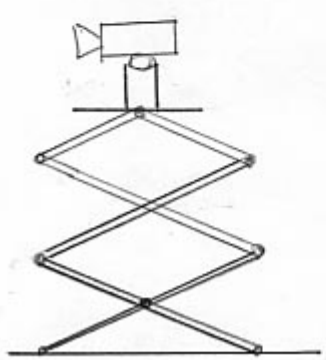
チーム名	キャプテンが所属する団体名
K	

第 3号機	ロボット名(フリガナ)
--------------	-------------

このロボットの構造図およびアイデアをわかりやすく作図してください。



高々度カメラ



ダミアン輸送機です。

ベッドには綿が敷き詰められており、ダミアンが乗っているときに多少ゆれることがあってもダミアンに衝撃が行くことはありません。

また、これにより、2号機のゆっくりダミアンを降ろす機能をさらに強化しています。

また、360度回転する高々度カメラによって、視界が大幅に広がり、ダミアン発見時に大きな役割を果たし、また他二機の作業効率を高め、すばやい連携を可能にします。